

## 第73回 日本連合教育会研究大会 東京大会(案)

皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

日本連合教育会は、昭和24年発足以来、常に中正不偏の立場を堅持しつつ、日本の教育の振興刷新を図ること及び世界の平和と人類の福祉に貢献できる日本人の育成を目指し、日々教育実践に努め、年次大会を毎年開催してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度予定していた第72回日本連合教育会研究大会香川大会を一年延期し、令和4年度に第73回日本連合教育会研究大会東京大会を実施することとなりました。

今回の東京大会では、大会主題を「Society5.0(超スマート社会)を心豊かで主体的に生き抜く日本人の育成」といたしました。科学技術が著しく発展した社会にあって主体性を発揮し、心豊かでたくましく生き抜く子供たちの育成を目指す各学校の取組を、この主題のもとに研究討議することは教育の実践に携わる我々教職員の喫緊の課題であるとの認識から大会主題を設定いたしました。

つきましては、都内の教職員、保護者、地域の皆様はじめ、全国各地から多数の皆様のご参加を心からお待ちし、ここに大会開催のご案内を申し上げます。

### 東京大会開催要項(案)

**大会主題** Society5.0(超スマート社会)を心豊かで主体的に  
生き抜く日本人の育成

- 主催** 日本連合教育会 東京都教育会
- 後援** 文部科学省 東京都教育委員会 中野区 中野区教育委員会 東京都特別区教育長会 東京都  
(予定) 都市教育長会 東京都町村教育長会 東京都国公立幼稚園・こども園長会 東京都公立小学校  
校長会 東京都中学校長会 東京都公立高等学校長協会 東京都立特別支援学校長会 東京  
都公立幼稚園・こども園教育研究会 東京都小学校教育研究会 東京都中学校教育研究会  
東京都公立幼稚園PTA連絡協議会 東京都公立小学校PTA協議会 東京都公立中学校P  
TA協議会 東京都公立高等学校PTA連合会 東京都退職校長会 (公社)日本教育会  
(公財)日本教育公務員弘済会東京支部
- 期日** 令和4年8月18日(木)～19日(金)
- 会場**
  - 理事会** ホテルメトロポリタン エドモント [fronto@edmont.co.jp](mailto:fronto@edmont.co.jp)  
(レセプション) 〒102-8130 千代田区飯田橋3-10-8 ☎ 03-3237-1111 FAX 03-3234-4371
  - 青年教師の会** ホテルメトロポリタン エドモント [fronto@edmont.co.jp](mailto:fronto@edmont.co.jp)  
(交流会) 〒102-8130 千代田区飯田橋3-10-8 ☎ 03-3237-1111 FAX 03-3234-4371
  - 全体会** なかのZERO 大ホール  
〒164-0001 中野区中野2-9-7 ☎ 03-5340-5000 Fax 03-5340-5016
  - 分科会** 帝京平成大学中野キャンパス(第1～9分科会)、なかのZERO 大ホール(第10分科会)  
〒164-8530 中野区中野4-21-2 ☎ 03-5860-4711 Fax 03-5860-4735

## 5 日程

15:00 15:30

17:20 17:40

19:30

8月18日 (木)						受付	日連教理事会	休憩	レセプション
							青年教師の会		交流会
8:30 9:00 9:40 10:10 10:30 11:40 12:10 13:30 16:30									
8月19日 (金)	受付	開会式	全体会	休憩	記念講演	アトラク ション	移動・ 昼食	分科会	

## 6 大会内容

- (1) 開 会 式 挨拶・祝辞・表彰等
- (2) 全 体 会 日本連合教育会会務報告 大会主題設定の趣旨説明  
大会宣言文採択 次期開催地山口県教育会挨拶
- (3) 記 念 講 演 演 題 未定  
講 師 未定
- (4) アトラクション 中野区小学校・中学校・高等学校のプラスバンド
- (5) 分 科 会

No.	分科会	研究協議題	提案教育会	会 場
1	教育課程	学校の教育ビジョンを生かした教育課程の創造	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
2	学習指導(1)	「主体的・対話的で深い学び」を実現させる学習指導	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
3	学習指導(2)	Society5.0(超スマート社会)を主体的に生き抜く力を育む外国語教育	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
4	情報教育	論理的思考力・判断力の育成を図るプログラミング教育	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
5	道徳教育	他者と共によりよく生きる力を育てる道徳教育	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
6	幼児教育	心豊かで主体的・対話的に生きる幼児の育成	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
7	特別支援教育	心豊かに自立して生き抜く資質・能力(生きる力)を育む特別支援教育	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
8	人権教育	人権尊重の理念を定着させ、差別や偏見のない社会の実現を目指す人権教育	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
9	健康・安全教育	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す子供の育成	( ) 東 京 都	帝京平成大学 中野キャンパス
10	学校・家庭・地域 社会の連携 (シンポジウム形式)	地域とともにあるコミュニティ・スクールの在り方 コーディネーター(CSマイスター)四柳 千夏子 先生	( ) 東 京 都	なかの ZERO 大 ホ ール

7 参加予定者 約1,100名(都内500名、都外600名)

8 大会参加費 3,500円 大会資料(19日昼食代を含む)

9 大会事務局 東京都教育会 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-21-13-307 担当:門脇・本多・岩永  
TEL:03-3441-8267 FAX:03-3441-8268 E-mail: [t-kyoikukai@beetle.ocn.ne.jp](mailto:t-kyoikukai@beetle.ocn.ne.jp)

第73回東京大会主題

**Society5.0(超スマート社会)を心豊かで主体的に生き抜く日本人の育成**

**主題設定の趣旨**

日本連合教育会は、昭和24年発足以来、常に中正不偏の立場を堅持しつつ、日本の教育の振興刷新を図ること及び世界の平和と人類の福祉に貢献できる日本人の育成を目指し、日々教育実践に努め、研究大会を開催している。そして本年は東京において第73回研究大会を開催することになった。

2030年代(次世代)の日本の社会は、Internet of Things (IoT)、ビッグデータ、人工知能(AI)、ロボットなどの先端技術を駆使し、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実社会)の融合を図る Society5.0(超スマート社会)の到来が予想される。このような中であって、社会は子供たちが心豊かでたくましく生き抜く力を育むことを学校教育に求めている。

国は社会の急激な変化に応えるため、Society5.0(超スマート社会)を心豊かでたくましく生き抜く力を育むことを目指し、子供たち一人一人の能力や適性に応じて個別適正化された学びの実現に向け、学習指導要領を改訂した。

学習指導要領は、2030年代の社会を心豊かに自立して生き抜く資質・能力を「生きる力」とし、子供たち一人一人に知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養が偏りなく実現できるように求めている。

そして、「生きる力」を目指す教育課程の編成・実施にあたっては、カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、子供たちや学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、実施状況を評価してその改善を図っていくこと、実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこととしている。

今回の研究大会は大会主題を、「Society5.0(超スマート社会)を心豊かで主体的に生き抜く日本人の育成」と掲げた。

科学技術が著しく発展した社会であって、主体性を発揮し心豊かでたくましく生き抜く子供たちの育成を目指す各学校の取組をこの主題のもとに研究討議することは、教育の実践に携わる我々教職員の喫緊の使命である。

大会の参加者が研究協議題に即した実践研究の発表に基づいて協議し、明日の教育実践に繋げることを切望する。



# 1 分科会研究協議題及びその設定の理由、研究協議の視点(案)

## 第1分科会 教育課程

### 1 研究協議題 学校の教育ビジョンを生かした教育課程の創造

### 2 研究協議題設定の理由

Society5.0(超スマート社会)の到来を踏まえ、学習指導要領は、心豊かに自立して生き抜く資質・能力を「生きる力」とし、「知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養」を掲げ、それらが偏りなく実現できるようにすることとしている。

そのためには、学校が教育ビジョンをもち、全ての教職員が教育課程を常に意識するとともに、地域社会との協働のもと地域の教育資源を生かして、社会に開かれた教育課程を編成・実施することが必要である。

そこで、以下の視点を中心に協議する。

### 3 研究協議の視点

- (1) 学校の教育ビジョンを生かした教育課程の創造
- (2) 社会に開かれた教育課程の編成と評価の工夫

## 第2分科会 学習指導(1)

### 1 研究協議題 「主体的・対話的で深い学び」を実現させる学習指導

### 2 研究協議題設定の理由

IoTやAI等飛躍的に進化するSociety5.0(超スマート社会)において、持続可能な社会の担い手を育成するため学習指導要領に「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業が掲げられ、各校で実践されている。

本分科会では、生きて働く知識及び技能、思考力、判断力、表現力等と情報活用能力、学びに向かう力や人間性等、これからの社会を生き抜く上で必要な資質・能力の育成を図る学習指導の在り方をプログラミング教育等も含め、具体的な方策を明らかにする。

そこで、以下の視点を中心に協議する。

### 3 研究協議の視点

- (1) 学習指導におけるICT機器の効果的・効率的な活用
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習指導と評価

## 第3分科会 学習指導（2）

### 1 研究協議題 Society5.0 (超スマート社会) を主体的に生き抜く力を育む外国語教育

#### 2 研究協議題設定の理由

グローバル社会を主体的にたくましく生き抜き、よりよい社会を創る子供を育成するためには、英語に慣れ親しむだけではなく、日本人のよさや日本の生活・文化等の素晴らしさを世界の人々に伝えようとする意欲と表現力を育成することが必要である。

また、Society5.0（超スマート社会）では、外国語による「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通して、外国語に親しみ、学びに向かう力を付けて、資質・能力の育成を図ることが必要となる。そのためには、教師が自信をもって指導できるように学校としてスキルアップに取り組むことが大きな課題である。

そこで、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 外国語を用いたコミュニケーション能力の育成を図る指導の工夫
- (2) 外国語教育を教師が自信をもって指導できるような体制づくり

## 第4分科会 情報教育

### 1 研究協議題 論理的思考力・判断力の育成を図るプログラミング教育

#### 2 研究協議題設定の理由

プログラミング教育による論理的思考力の習得は、Society5.0 (超スマート社会) において必須事項となる。

プログラミング教育を通して、家庭生活や社会からの様々な情報を見極め、情報技術の光と影を理解し、事象を主体的に判断し、問題解決を図ろうとする子供の育成を目指す授業の方向を探る。

そこで、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 論理的思考力・判断力の育成を図るプログラミング教育の在り方
- (2) 対応すべき情報技術の光と影

## 第5分科会 道徳教育

### 1 研究協議題 他者と共によりよく生きる力を育てる道徳教育

#### 2 研究協議題設定の理由

社会が急激に変化する中で、子供には社会を構成する主体である人間として高い倫理観をもち、多様な価値観を認識しつつ、自ら感じ、主体的に考え、他者と議論しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を身に付けることが求められている。

そのため、「特別の教科 道徳」においては、子供たちが道徳的な課題と向き合い自分のこととして捉え、主体的に考えを深める授業の推進や成長を促す工夫が必要である。

そこで、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 生き方について主体的に考えを深める道徳科の授業の推進
- (2) 一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の工夫

## 第6分科会 幼児教育

### 1 研究協議題 心豊かで主体的・対話的に生きる幼児の育成

#### 2 研究協議題設定の理由

今回の幼稚園教育要領の改訂では、学校教育全体を通しての主体的・対話的で深い学びの展開とともに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されたことが大きな特徴である。

また、心豊かな幼児の育成のためには、幼児を取り巻く保護者を中心とした子育て支援の充実や更なる地域との連携、カリキュラム・マネジメントの必要性も改訂の中に示された。

そこで改訂後の実践を通し、幼児の育ちや指導の工夫を明らかにするために、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導
- (2) 心豊かな幼児育成のための地域との連携や子育て支援

## 第7分科会 特別支援教育

### 1 研究協議題 心豊かに自立して生き抜く資質・能力（生きる力）を育む特別支援教育

#### 2 研究協議題設定の理由

学習指導要領改訂の重要な背景として、「障害者の権利に関する条約」の批准がある。Society5.0（超スマート）における各障害種別学校では、子供の十分な学びを保障するために、障害の状況や発達段階に応じた指導、そして、全ての教科における支援の在り方を工夫し、一人一人の力を高める必要がある。また、生涯学習に意欲を高めることや生涯を通じてスポーツや文化芸術活動に親しみ、豊かな生活を営むことができるよう配慮することを規定している。

この点を踏まえ以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 生涯スポーツにつなげることを意識した特別支援教育の体育的活動の充実
- (2) スポーツを適切に日常生活に取り入れることによる健康で安全な生活の実現

## 第8分科会 人権教育

### 1 研究協議題 人権尊重の理念を定着させ、差別や偏見のない社会の実現を目指す人権教育

#### 2 研究協議題設定の理由

Society5.0（超スマート社会）の到来が予想され、子供が心豊かでたくましく生き抜く力を育むには、人として生きる基盤である一人一人の人権を大切にすることが一層重要になる。社会や家庭環境が大きく変化する中で、いじめ、虐待、体罰など子供の人権に関わる課題や共生社会の実現に向けての課題が指摘されている。学校においては、よりよい人間関係の構築や子供の社会性の育成、高齢者、障害者、外国人への差別や偏見をなくす等、人権意識の高揚がより求められる。

そこで、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 人権課題「子供」の視点から、一人一人の人権が大切にされ、誰もが個人として尊重される学校や社会の実現を目指す人権教育の推進
- (2) 「豊かな人間性」「自己理解と他者理解」の視点から、多様性を尊重し様々な違いを認め合う共生社会の実現を目指す人権教育の推進



## 第9分科会 健康・安全教育

### 1 研究協議題 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す子供の育成

#### 2 研究協議題設定の理由

Society5.0（超スマート社会）で生きる子供たちが、健康で明るく元気に過ごすことは、これからもますます重要となってくる。

しかし、子供を取り巻く心身の健康や生活習慣等の諸問題は山積している。更に、自然災害から身を守る安全教育が喫緊の課題となっている。

このような様々な課題を踏まえ、子供たちが生涯を通じて健康で・安全で活力ある生活を営むための在り方と、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーから学ぶ、スポーツをする・見る・支える教育の在り方について、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を営むための基礎を培う指導と評価
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーから学ぶ豊かなスポーツライフ教育の在り方

## 第10分科会 学校・家庭・地域社会の連携（シンポジウム形式）

### 1 研究協議題 地域とともにあるコミュニティ・スクールの在り方

#### 2 研究協議題設定の理由

Society5.0（超スマート社会）の時代にあっては、学校の教室での学習のみならず、大学、研究機関、企業、NPO、教育文化スポーツ施設、農山村の豊かな自然環境などの地域の様々な教育資源や社会関係資本を活用して、いつでも、どこでも学ぶことができるようになると予想されている。

そこで、この分科会では、Society5.0（超スマート社会）を心豊かで主体的に生き抜く子供の育成に向けて、学校を核とした協働の取組を通じて、家庭・地域の人々とのつながりを深め、地域とともにあるコミュニティ・スクールの在り方について、以下の視点を中心に協議する。

#### 3 研究協議の視点

- (1) 地域とともに心豊かで主体的に生き抜く子供を育むコミュニティ・スクールの在り方
- (2) 学校・家庭・地域社会が連携・協働する上での課題と改善策

# 日本連合教育会研究大会東京大会 分科会進行・運営(案)

## 1 分科会の進行・運営方法・時間配分

### (1) 分科会について

「提案発表」「グループ協議」「グループ発表」「指導助言」で構成

### (2) 提案発表

ア 提案時間(1提案15～20分)：提案者が2人の時は20分、3人の時は15分とする。

イ 提案発表者は初めに自己紹介を行う。(所属教育会(県名等)、所属学校名、氏名)

### (3) グループ協議について

ア グループ人数は6名が基本。当日の参加状況により調整するが、最多6名とする。

イ 各グループの司会者、記録者、発表者は東京都教育会で割り振る。

ウ グループ発表は、1グループ2分以内ですべてのグループが発表する。

※最大全国から600人、東京から300人の参加とする。 $900 \div 10 = 90$   $90 \div 6 = 15$  グループ

2分 $\times$ 15グループ=30分

(参考) 前回の東京大会は各グループ85名～90名で最大110名。滋賀大会の県外参加者は330人

エ 発表の内容は、協議1・2(・3)を通して参考になったこと(成果)とさらに検討が必要なこと(課題)各一点ずつを原則とする。

### (4) 全体協議は行わない。

※滋賀大会では全体協議が設定されていたが、挙手はなかったので次に進んでしまった。

## 2 分科会の流れ

13:30 (1) 開会のあいさつ(運営責任者)

(2) 分科会役員の紹介(運営責任者) (2分)

指導助言者・提案者・司会 ※その他の役員は紙面紹介

グループ協議司会者・記録者・発表者は東京都教育会。

(3) 進行計画等の説明(司会者) (3分) に変更

分科会研究協議題の確認、分科会の進め方、発表者の決定

13:35 (1) 提案1(20分)

提案2(20分) [分科会により：提案1(15分)提案2(15分)・提案3(15分)]

(2) 質疑応答(10分)

※滋賀大会は発表が15分であったが20分とする。

14:25 (3) 研究協議1(30分)

14:55 休憩

15:05 (4) 研究協議2(30分)

15:35 グループ発表(30分)

16:05 指導助言(20分)

16:25 閉会あいさつ・所連絡(運営責任者) (5分)

16:30 分科会終了 アンケート回収